

賛成代表討論文

知事が真相解明を断念しました。正直驚きました。私は残りの任期の間はずっと「真相解明しています、調査しています。」と言い続けていくのではないかと考えていましたから。以前、真相解明をするために知事を続けると言われましたので、それが断念しますということは、これはもう腹をくったのではないのでしょうか。

しかし、ここで私は知事がどんなことをしたか、カネがどうか言うつもりはありません。いま問題なのは、民意とのねじれ現象なのです。

知事は県民の負託を得ていると言われましたが、選挙のときと現在では状況が全く違います。私もいろいろな方々に意見を聞きましたが、皆さん知事に対し批判的です。けれども、それが総意なのか、県民の皆さんがほとんどそうなのかは分かりません。

今回、反対されるのであろう方の周りにはもしかしたら知事は辞めなくていいと考えておられる方が多いのかもしれない。ただ、どれぐらいの割合か正確なところは誰も分かりません。

けれども、出直し選挙に賛成かどうかを聞けば、賛成の方がほとんどではないのでしょうか。続けるべきだと考えられている方でも、真相解明を断念したのであればここであらためて民意を問うべきだと、県民の皆さんもそれを望んでいるはずです。

県民の皆様からすればそれぐらい大きな問題です。参加したい問題なのです。それとも、議員の皆さんは別にたいした問題ではないとお考えですか。我々が知事を辞めさせるとか続けてもらうとかを決めるのではないのです。今こそ、民意に問いましょう。そのための出直し選挙です。そのための不信任決議案です。県民の皆さんにも参加して頂きましょう。

そしてまた、今回当選した新人議員の皆さん。皆さんが何故多くの現職の方々に勝つことができたのでしょうか。何を期待されて当選したのでしょうか。今までの議会を変えて欲しいから、このままではいけないとの思いがこの結果に表れたのではないのですか。選挙中も多くの方が知事批判をしてきたはず。しかし、今のままでは新人15人中、賛成は3人だけです。これを県民の皆さんはどう思うでしょうか。選挙中に訴えてきたことを思い出して下さい。県民の皆さんは忘れていませんよ。3ヶ月たてばもう意見が変わるのですか。それは支持して頂いた方々に対する裏切り行為ではないのでしょうか。支持して頂いた方々の顔を思い出して下さい。

選挙中よく言われたことがあります。「どうせ議員なんて誰がなっても同じよ。」「どうせ何にも変わりませんよ。」本当によく言われました。本当に悔しいです。「信じて下さい。信じてください。」と言うしかありません。けれどもこんな状況なら言われても仕方ありません。また同じことを繰り返すのですか？

そんなことをしてはますます政治不信どころか政治家不信になります。
誰のための政治ですか。何のための政治ですか。今一度考えて頂きたい。
今しかないのです。変わるのは今しかないのです。

私も当選して議会で足を運ぶ毎日の中で何か勘違いしていた部分があります。
一生懸命、知事を辞めさせることばかり考えていました。
何人で可決、何人足りない、数の論理、パワーゲームに惑わされていました。
そうではないのです。知事の進退は我々ではなく県民の皆さんが決めるべきことなのです。
あくまでも皆さんに判断して頂く状況を作ることが役目なのです。
そのための出直し選挙です。
そのための不信任決議案です。

個人的には賛成だけど会派の意向で…。とか
あの会派が出したから反対だとか、あの人が賛成なら反対だとか。
そんなことはもうやめましょう。
これは会派に従うべきことではありません。誰かに合わせることはありません。
知事が自ら辞めないのであれば、不信任決議案しかないのです。
広島県を変えましょう。議会を変えましょう。民意を反映させましょう。
自分の子や孫にも堂々と、堂々と言える行動を、
より良い未来のため、より良い広島県のための行動を
是非とも皆さんにお願い致します。